

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤	写真・後藤
山行番. NO. 2101		
日 時 2025年11月22日(土) 晴・風なし		
山 域 御坂・三方分山(1422m)～パノラマ台		
コース 長泉 7:00-精進湖P 8:27-精進大スギ-女坂峠(阿難坂峠) 9:32-三方分山 10:30-精進山 10:44-精進峠 11:12-昼食(三ツ沢峠手前のピーク) 11:45～12:15-三ツ沢峠 12:24-パノ ラマ台 12:41-パノラマ台登山口 11:39-駐車場 13:46-長泉 15:00		
累計標高差 駐車場約900m～三方分山1422m=800m		
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい		
縦走路は案外、岩っぽい山だった		
参加者 後藤、峰田、伊藤、斎藤=4名		

朝7時、長泉発。天気は良好。皆元気だ。精進湖駐車場着。駐車場は無料で広くトイレ完備で有難い。

8:30 登山開始。富士山が大きい湖畔は、多くの観光客で賑わっていた。キャンパーが朝餉の仕度に忙しかった。



湖畔のキャンパー

駐車場から来た道を少し戻ると、左に登山口があった。小川沿いに進むと左手に諏訪神社があり、国天然記念物の「精進の大杉」があった。

樹齢は約1200年、目通り10m・樹高40mで県下一を誇り、別名「千年杉」といわれている。女子が見学をした。

神社道のどん詰まりから登山道が始まった。比較的歩き易い道。道幅があり、つづら折りになっているが、なかなか急登だった。途中で5名の若い衆に抜かれた。皆、若く元気がよく賑やか。先頭のリーダー以外、シロウトの感じ。靴はズックでザックはペラペラだった。

聞けば、リーダー以外、登山は初めてという。「クマは若い衆から襲い食べるから、先に行ってくれ」とイジった。彼らは、まるで廻のように、ヒラヒラ上って行った。ああ、若い衆は素晴らしいね！！



女坂峠

一時間で女坂峠着。峠は、駿河湾から甲府へ生魚を運ぶため、夜、馬の背に乗せて、最短距離を行くコースだったという。当時は、人も馬も大変だった想像。峠道は北に甲府へ向かっていたが、私たちは西の三方分山に向かった。

登山道は急峻で所々、崩壊し巻道があった。ところが、巻道と思った道は、やがて本道を外れ「ケモノ道」になった。枯葉で滑る急登を進む。道はますます急になり、マズイと思った矢先、先頭のGが「大丈夫か～！！？？」の大声が響いた。

何かと思ったら、前を上っていた女子2名が、行き詰まって下降中、「枯葉に滑落」してキヤ～っと数m斜面を落ちたのを目撃したようだ。

女子1名は、顔に軽傷だった。下は崖だったの危なかった。履いていた靴がズックで踏ん張りが利かない状況だった。私たちも無理をせず、少し下り尾根道に出て肩を撫で下ろした。「枯葉で滑落」ではシャレにならない。



女坂峠



最近では珍しい、この看板



三方分山



三ッ沢峠

本道に戻り、三方分山着。峠から約1時間だった。樹木が多くかった。スッキリした山頂ではなかつたが、富士山は良く見えた。写真を収め次に向かう。

ここから大小のピークをこなす。10回位、上り下りした。総じて岩っぽい尾根道だった。最後にパノラマ台がなければ、逆コースが良いだろう。パノラマ台で昼食予定だったが、11時半を回ったので、三ッ沢峠手前のピークで昼食した。風が冷たかった。

食後下るとすぐ三ッ沢峠だった。急に登山者の往来が多くなった。今まででは10人程度しか会わなかつたのに。

しばらく上ると、今朝会った若い衆が下って来た。皆さん、今日の登山にルンルンだった。外人さんにも「ガンバッテ」と日本語でエールを受けた。

やっと着いたパノラマ台は多くの方で一杯だった。殆ど精進湖から往復。ここで昼食でなく正解だった。三連休初日で天気も良く登山日和だからね。記念写真のみですぐ下った。滑落2人組も無事上って来た。途中の展望台は、なかなか良かった。

早めに駐車場着。長泉には15:00ころ帰った。



途中の展望場



パノラマ台